

株式会社ブロードバンドセキュリティ  
2021年6月期 通期決算説明資料



2021年8月16日

**2021年6月期 通期 業績サマリー**

**トピックスのご紹介**

**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**

**2021年6月期 通期 業績サマリー**



トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

# 業績サマリー

売上高は過去最高を更新するも、売上原価・販管費が増加し、営業利益が減少。

単位：百万円

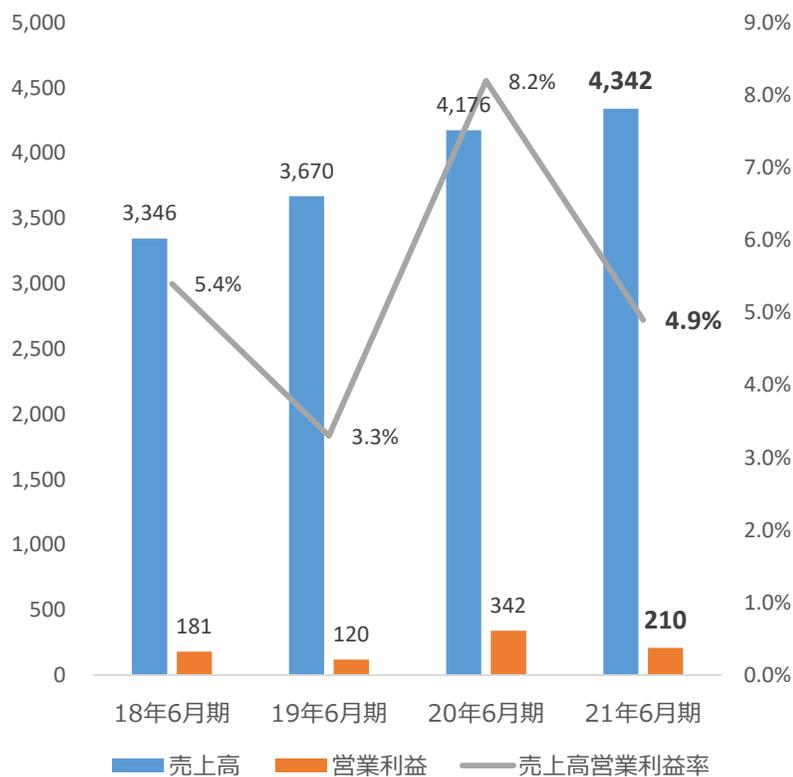
科目	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期実績	前年同期比		科目別増減ポイント
			増減	増減率	
売上高	4,176	<b>4,342</b>	+166	+4.0%	
セキュリティ監査・コンサル	681	<b>716</b>	+35	+5.2%	国内PCI維持コンサル好調、地銀SWIFT上乘せ、韓国金融好調
脆弱性診断	1,402	<b>1,385</b>	△ 17	△ 1.2%	下半期に積上予定分が未達
情報漏えいIT対策	2,092	<b>2,240</b>	+148	+7.1%	継続サービス積上、ランサムウェア増加でフォレンジック2.5倍
売上原価	2,947	<b>3,124</b>	+177	+6.0%	外注費増、SIEM・WAF等の仕入れ増、仕掛減
売上総利益	1,229	<b>1,217</b>	△ 11	△ 0.9%	売上増より売上原価増が上回る
販売費及び一般管理費	886	<b>1,007</b>	+120	+13.6%	支払手数料等増
営業利益	342	<b>210</b>	△ 131	△ 38.4%	
売上高営業利益率	8.2%	<b>4.9%</b>	△ 3.3p		
経常利益	314	<b>197</b>	△ 116	△ 37.2%	
売上高経常利益率	7.5%	<b>4.5%</b>	△ 3.0p		
当期純利益	218	<b>121</b>	△ 96	△ 44.4%	

# サービス区分別 売上高推移

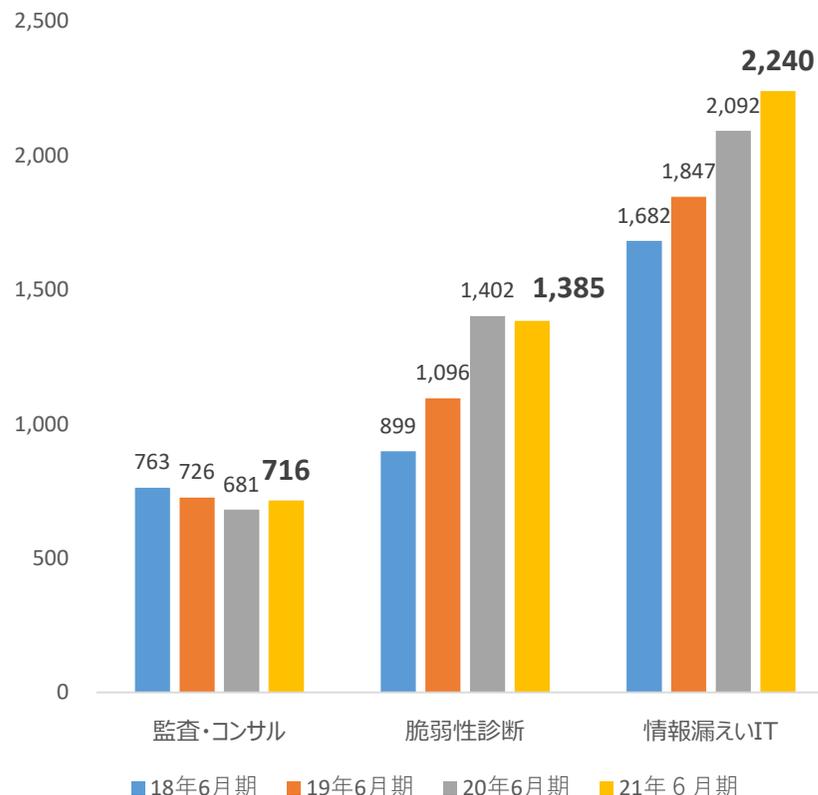
監査・コンサルおよび情報漏えいIT対策の成長により、増収を維持。

単位：百万円

売上高および営業利益率推移



サービス区分別売上高推移

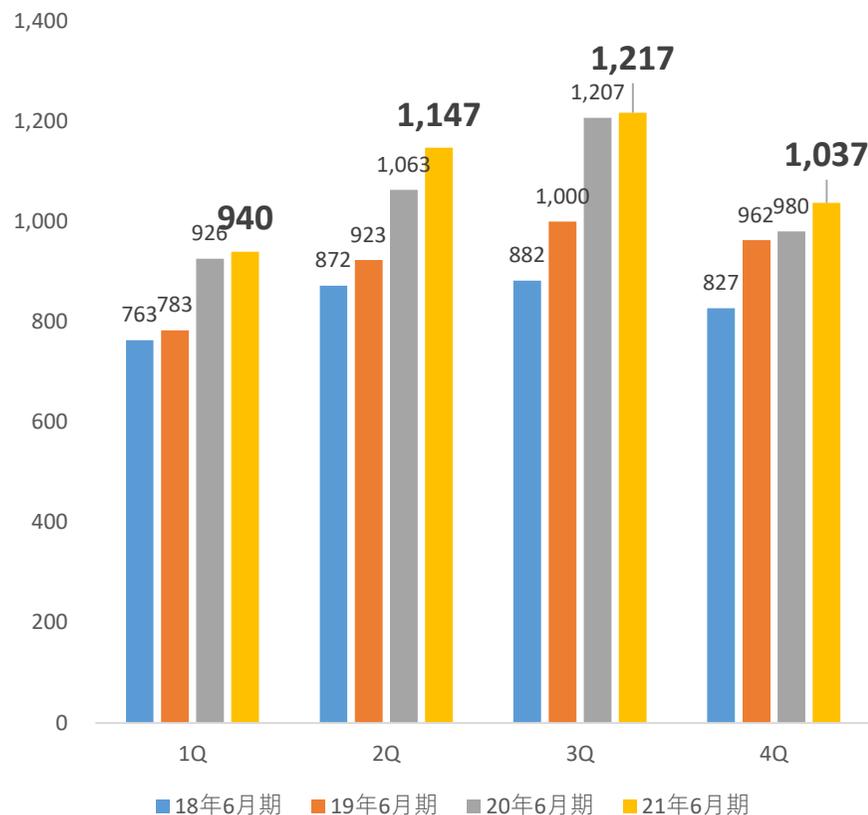


# 四半期推移

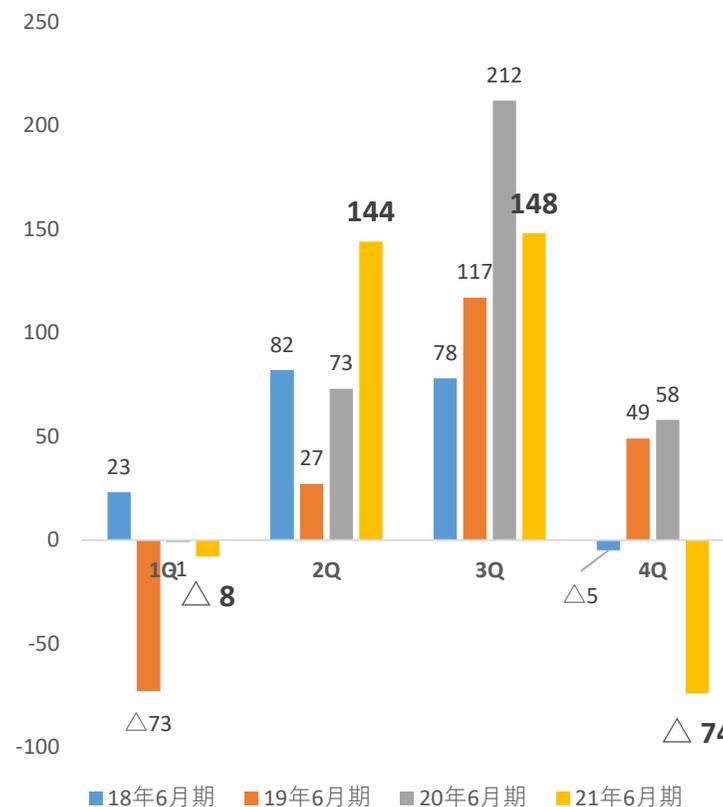
売上高はすべての四半期で前年越えの水準で推移。  
2021年6月期の下半期の一時的な外注費等の増加が利益に影響。

単位：百万円

### 売上高推移



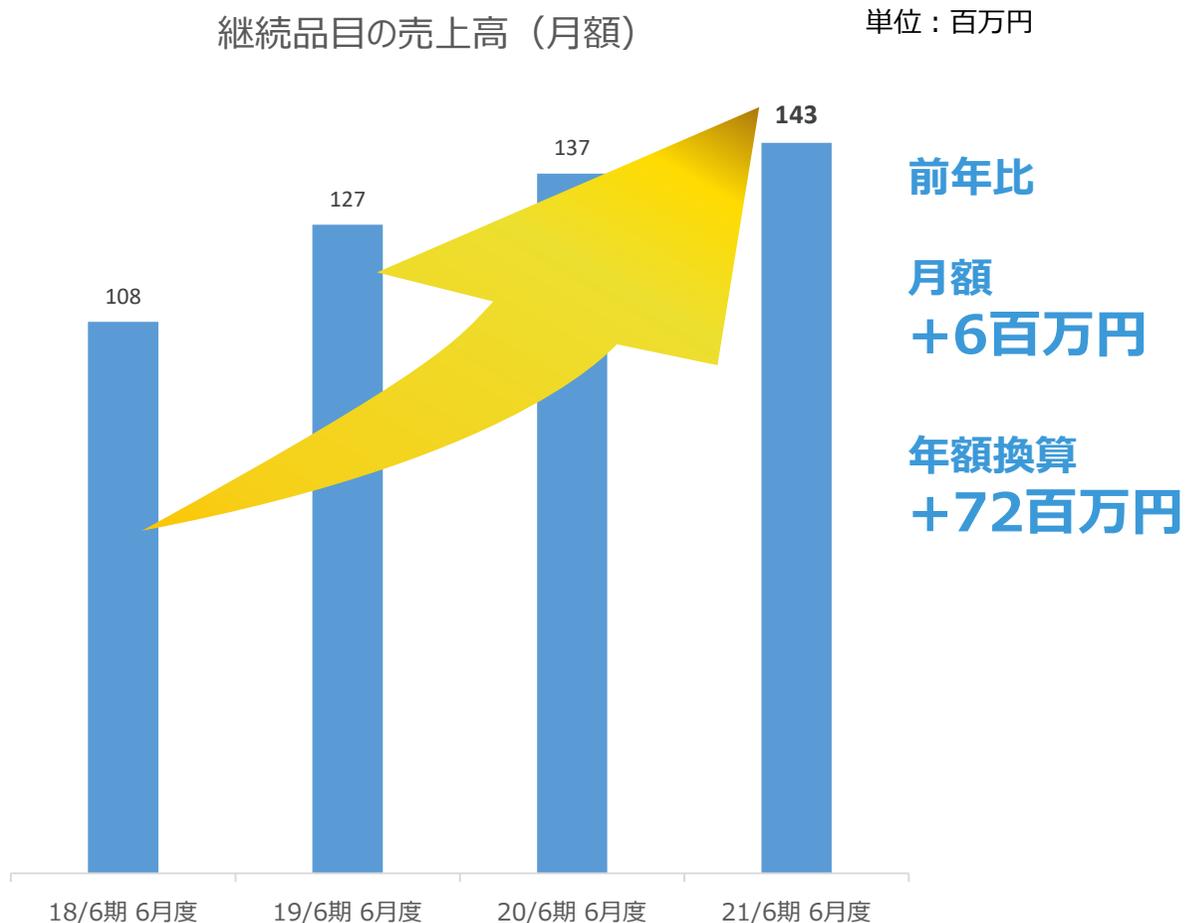
### 営業利益推移



※2018年6月期1Qおよび同2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

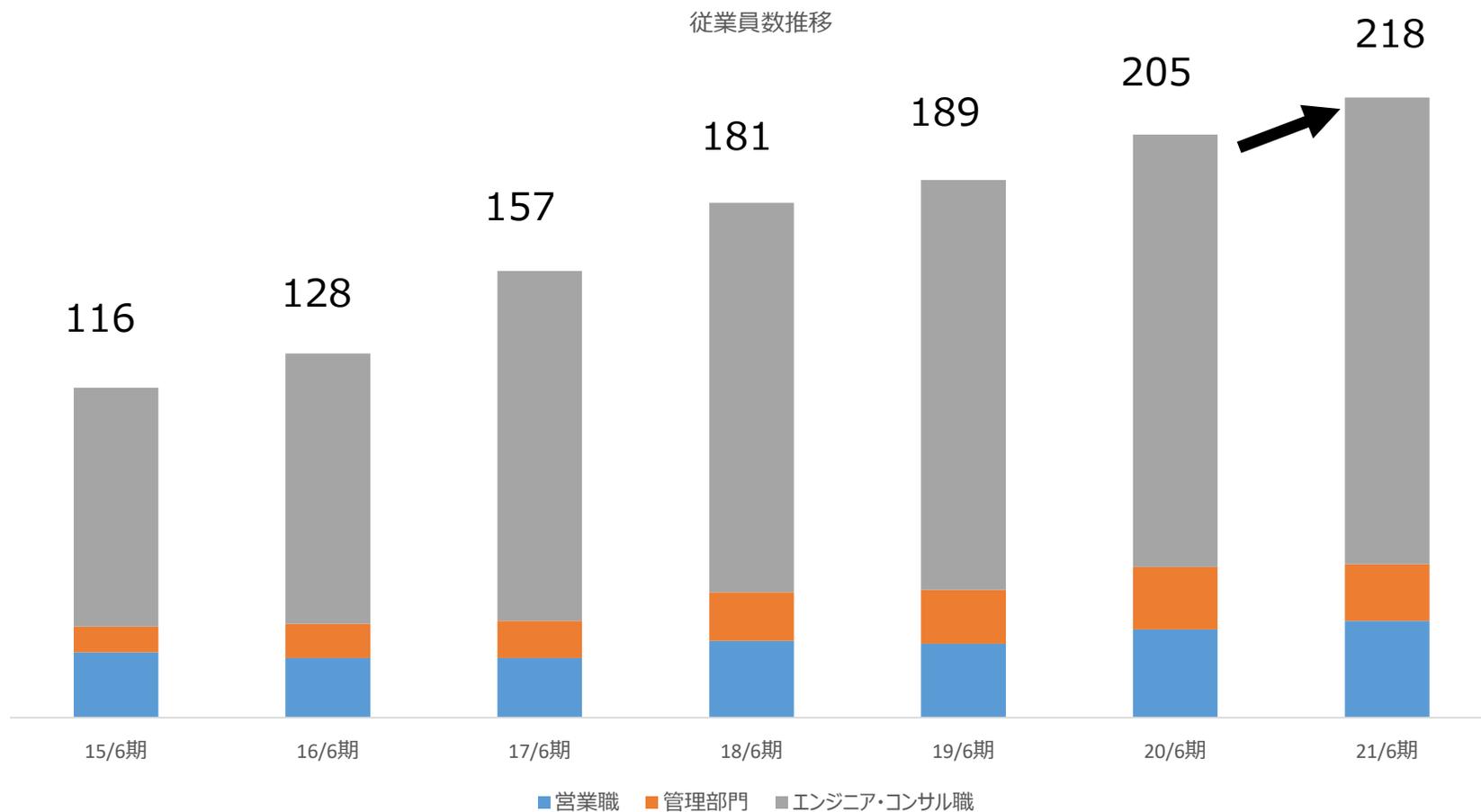
## 継続品目の積み上げが、今後の売上に寄与

情報漏えいIT対策サービスにおける、継続（年間契約）品目の売上高が前年比**6百万円/月増**、2022年6月期の安定的な売上**72百万円/年**として寄与予定。



# 従業員数推移

エンジニア・コンサル職を中心に、人材確保が進む。



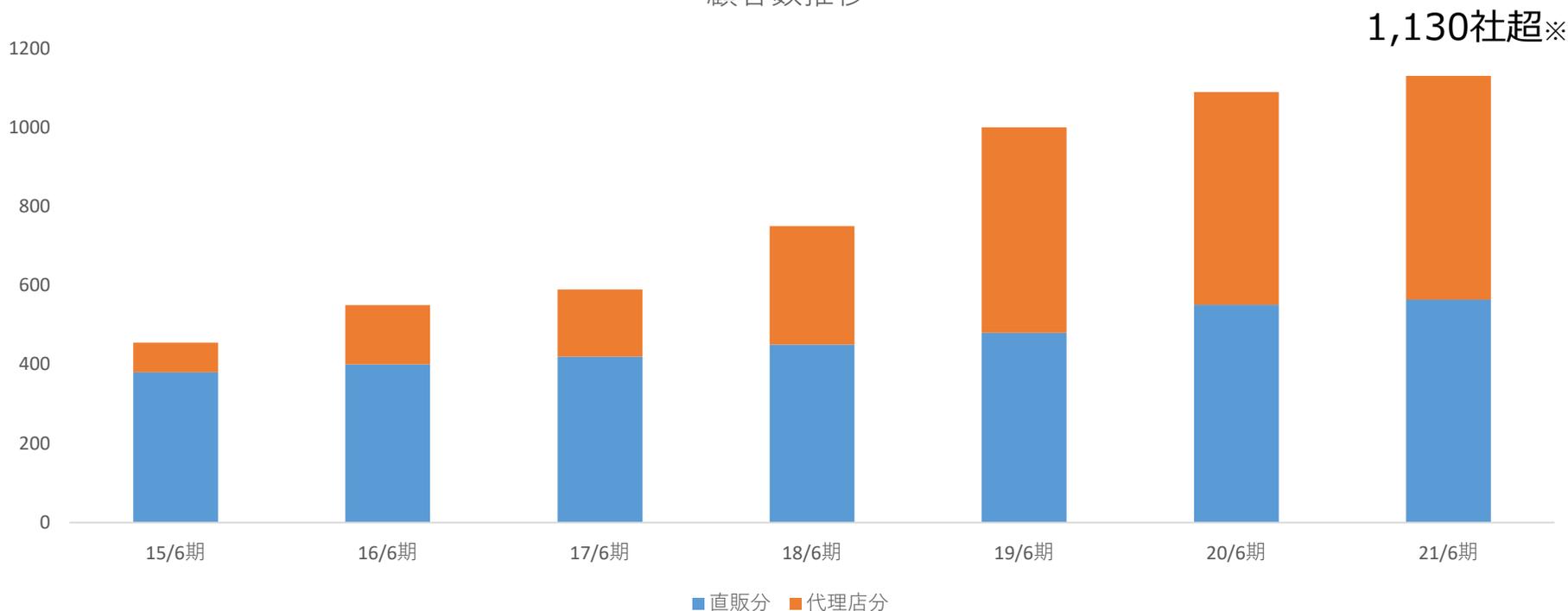
# 顧客数が1,130社を突破

2021年6月期に取引があった顧客数は1,130社を突破。

直販/代理店比率はほぼ均等。

特に脆弱性診断については、これまでに延べ5,810組織／35,000超のシステムにサービス提供。

顧客数推移



※韓国支店のSmartSAQ顧客  
(オンラインサインアップ分)を除く数

# 貸借対照表サマリー

自己資本比率が増加し、安定した財務基盤を維持。

単位：百万円

科目	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	前期末比
流動資産	1,507	1,553	<b>1,738</b>	111.9%
うち現預金	706	829	<b>945</b>	114.0%
固定資産	1,051	1,148	<b>1,046</b>	91.1%
<b>資産合計</b>	<b>2,558</b>	<b>2,702</b>	<b>2,785</b>	103.1%
流動負債	1,108	1,171	<b>1,236</b>	105.6%
固定負債	631	611	<b>550</b>	90.1%
<b>負債合計</b>	<b>1,739</b>	<b>1,782</b>	<b>1,787</b>	100.3%
<b>純資産合計</b>	<b>818</b>	<b>920</b>	<b>998</b>	108.5%
(自己資本比率)	32.0%	34.0%	<b>35.8%</b>	+ 1.8p

## キャッシュフロー計算書サマリー

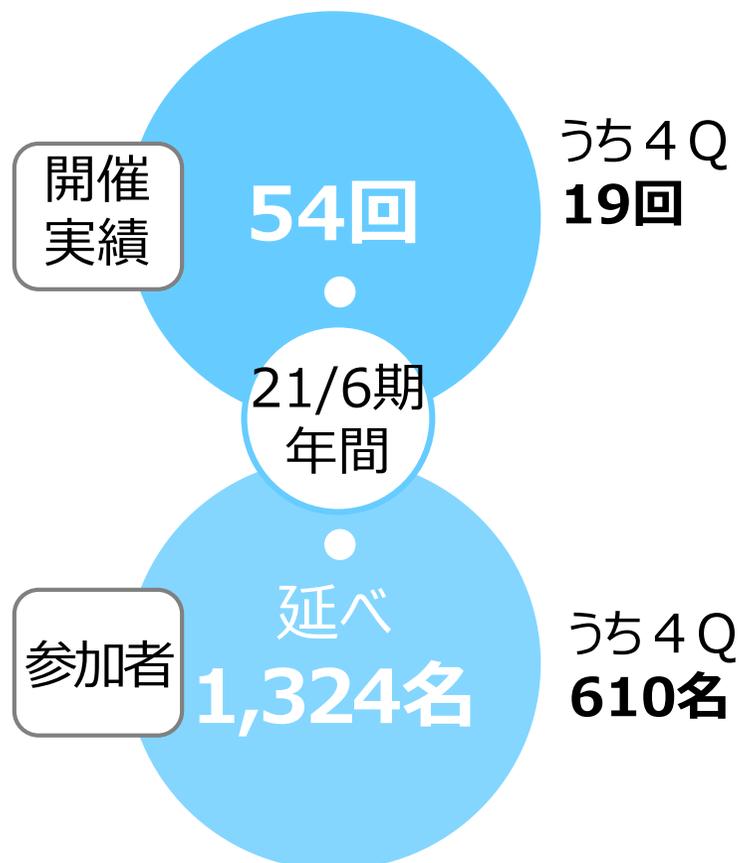
純利益減により営業活動によるキャッシュフローが減少するが、投資活動によるキャッシュフローと合わせたフリーキャッシュフローは+307百万円。初配及び2021年6月期中間配当（合計約60百万円）を行ったうえで、ほぼ前期並みの現金及び現金同等物の増加。

単位：百万円

科目	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	前期差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	327	747	<b>406</b>	△ 341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 223	△ 398	△ <b>99</b>	299
財務活動によるキャッシュ・フロー	298	△ 225	△ <b>185</b>	40
現金及び現金同等物の増減額	400	122	<b>116</b>	△ 6
現金及び現金同等物の期首残高	306	706	<b>829</b>	122
現金及び現金同等物の期末残高	706	829	<b>945</b>	116

## ウェビナー開催の増加

ニューノーマル時代の営業方法としてウェビナーが定着。  
特に4Qはパートナーとの共催が増え、増加傾向が顕著に。  
参加者に向けた営業活動を継続中。



### パートナーとの共催例

- 株式会社インフォメーション・ディベロップメント
- 株式会社JSOL
- ブロードメディア株式会社
- 株式会社ケーメックスONE
- MOXA JAPAN合同会社
- SB C&S株式会社
- ヴイエムウェア株式会社
- 大日本印刷株式会社
- かつこ株式会社

## 配当について

2020年6月期の年間配当金として、10円00銭の初配を実施。

2021年6月期以降についても同水準（第2四半期末5円00銭、期末5円00銭 合計10円00銭）を実施の予定※。

※本件は、2021年9月17日開催予定の当社第23期定時株主総会に付議予定。

## 2022年6月期予想

1. セキュリティ監査・コンサルにおいて、ゴミス事業の収益上乘せを見込む。
2. 脆弱性診断の態勢強化による収益貢献を見込む。
3. 情報漏えいIT対策での継続品目の積上げ、フォレンジックサービスの成長を見込む。

科目	2021年6月期	2022年6月期	前年同期比	
	実績	計画	増減	増減率
売上高	4,342	<b>5,000</b>	658	15.1%
セキュリティ監査・コンサル	716	<b>1,200</b>	484	67.6%
脆弱性診断	1,385	<b>1,500</b>	115	8.3%
情報漏えいIT対策	2,240	<b>2,300</b>	60	2.7%
売上原価	3,124	<b>3,600</b>	476	15.2%
売上総利益	1,217	<b>1,400</b>	183	15.0%
販売費及び一般管理費	1,007	<b>1,000</b>	△ 7	△0.7%
営業利益	210	<b>400</b>	190	89.9%
売上高営業利益率	4.9%	<b>8.0%</b>	+3.1p	
経常利益	197	<b>386</b>	189	95.5%
売上高経常利益率	4.5%	<b>7.6%</b>	+3.1p	
当期純利益	121	<b>268</b>	147	120.8%

単位：百万円

2021年6月期 通期 業績サマリー

**トピックスのご紹介**



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

# トピックスのご紹介

2021/05

## ゴメス・コンサルティング事業の承継

SBIグループのモーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業を承継。  
セキュリティだけでなくITサービス全体の管理・改善ソリューションを提供していく。

**Gómez™**

ユーザーの理解と顧客企業のビジネス理解をもとに、  
デジタルサービスの成功を多面的にサポート

ユーザーデータ分析



### 1. リモート型ユーザビリティテスト

一般消費者の気持ちを知るためのテスト  
ツール「UserZoom」提供

NEW!

### 2. マーケティング・データベース

マネジメント判断の参考となるユーザーの  
心理データを蓄積・整理・グラフ化

Webサイトの評価・開発

### 3. サイト評価・設計コンサル

UI/UX面での課題点の抽出、改善方向性の  
策定、リニューアルアドバイス

### 4. Webサイト・アプリ開発

顧客業界別の専門ディレクション人材によ  
るWebサイト・アプリ開発・運用

### 5. 各種シミュレーション開発

ライフプランシミュレーション、ロボアド  
バイザー、AI活用シミュレーション

効率的・安定的な運用サポート

Siteimprove

### 6. Webクオリティ検証ツール

コーディング品質、アクセシビリティ、  
SEO、GDPR、セキュリティ等

dynatrace

### 7. パフォーマンス監視ツール

インフラ・ネットワーク、アプリケー  
ションの監視・管理ツール

### 8. セキュリティ診断サービス

脆弱性診断、セキュリティコンサル  
ティング、改ざん検知ツール等



### 9. 業務フローコンサルティング

## トピックスのご紹介

ゴメス・コンサルティング事業の主要顧客である金融機関や大企業に対し、当社既存事業とのシナジーを活かした事業を展開していく。

### ゴメス・コンサルティングの強み

「ユーザーの動向分析」「業界の動向分析」「今後の方向性の適切な提案」をバランスよく実施。

金融・不動産・旅行交通・EC・IRサイトなど、30業界・4,600サイトをゴメスの客観的基準で評価し、ランキング発表を行っています。利用者の視点を中心に各業界に特化した評価基準を策定しています。

1

サイトランキングにより多様な業界の最新Web動向を把握

30業種4,600サイトを評価しランキング発表  
IRサイト総合ランキングは全上場企業のWebサイトを調査している

2

金融・IR・旅行・不動産サイト分析・構築に多数の実績あり



様々な業種の中で、特に金融・旅行・不動産・IR関連については多数実績あり。業界を把握したご提案が可能

3

上場企業としての管理体制の万全さ

ゴメス・コンサルティング株式会社は2006年に株式上場（2011年に当時の親会社モーニングスターと合併）、2021年に当社に事業移管

# トピックスのご紹介

## 金融機関向けのセキュリティ支援サービスを強化。 愛知銀行等の地銀中心に28行と契約を締結。

セキュリティ統制を定期的を確認し、安全に金融業務を継続するため、BBSecによる総合的な金融機関向け基幹システムのセキュリティ支援をご採択。

### 地方銀行・信用金庫様における課題の整理 (弊社聞き取り結果)

- 1) 精通した専門家がたくさんいるわけではないので、**対応要員の確保**ができない。
- 2) 取引先・外部委託先まで含める必要があり、**範囲が広がる**一方で対応が追いつかない。
- 3) 攻撃の複雑化・巧妙化に伴い、高度な対策が必要となっており、**コスト負担**が非常に大きい。
- 4) **クラウド利用**は増加の一方だが、そのセキュリティ対策まで十分に手が回らない。

**対応範囲拡大とコスト削減の両立が  
求められる中、専門ベンダー活用  
による工数確保が必要**

### BBSecの強み



#### 国内金融事業者精通

2005年にセキュリティサービスの提供を開始。  
日本内資企業初のSWIFT CSP assessment providerとして認定され金融事情に精通。



#### 多くの資格取得者が存在

CISSP、QSA、CISA、CISM、情報処理安全確保支援士など数多くの資格取得者が存在



#### チームによる支援体制

様々なノウハウをもつメンバーを揃えたチームで対応。  
コンサルタントによる偏りを排除し、継続的かつ一貫性のあるサービスを提供。



#### 多角的な支援が可能

SWIFT 外部評価サービス、FISCコンサルティングサービスをはじめ、様々なセキュリティサービスを提供

# トピックスのご紹介

## カード情報漏えい事故を取り扱う専門調査機関PFI※として、国内で数少ない事業者登録。

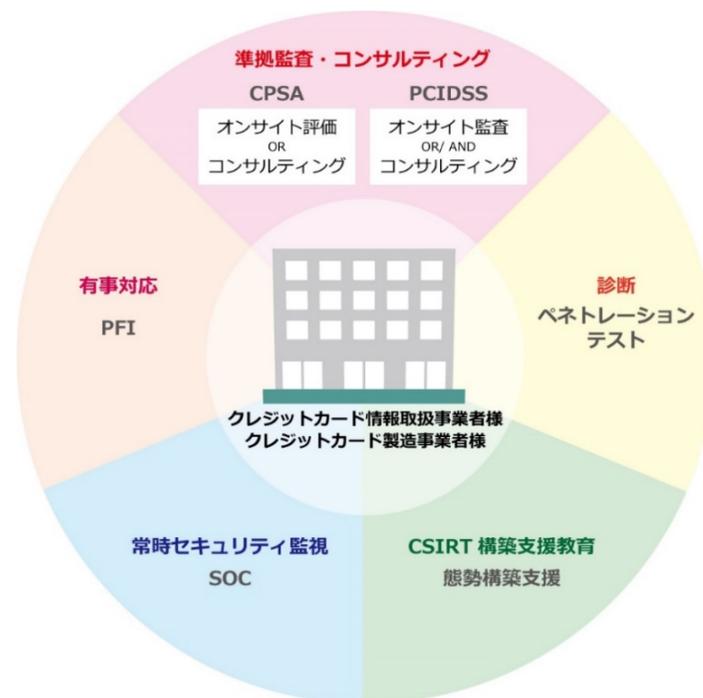
フォレンジックサービスは2021年6月期は前年比2.5倍。2022年6月期の成長分野として態勢強化。

※ PFI (PCI Forensic Investigator) PCI SSCが定める手順・品質水準で事件・事故調査を行う調査員と調査機関。

### 当社の保有するクレジットカードセキュリティ関連資格

プログラム	概要
PCI DSS	加盟店やサービス・プロバイダー向けの国際的なセキュリティ基準
PCI P2PE	クレジットカード読み取り機からサーバまでの全ての経路の暗号化のセキュリティ基準
PCI 3DS	インターネット上でクレジットカードを利用する際の本人認証サービス「3Dセキュア」に関する基準
<b>NEW!</b> PFI	クレジットカード情報漏えい事故を取り扱うための調査機関
<b>NEW!</b> CPSA	ペイメントカード（クレジットカード）の製造業者等に向けたセキュリティ基準。

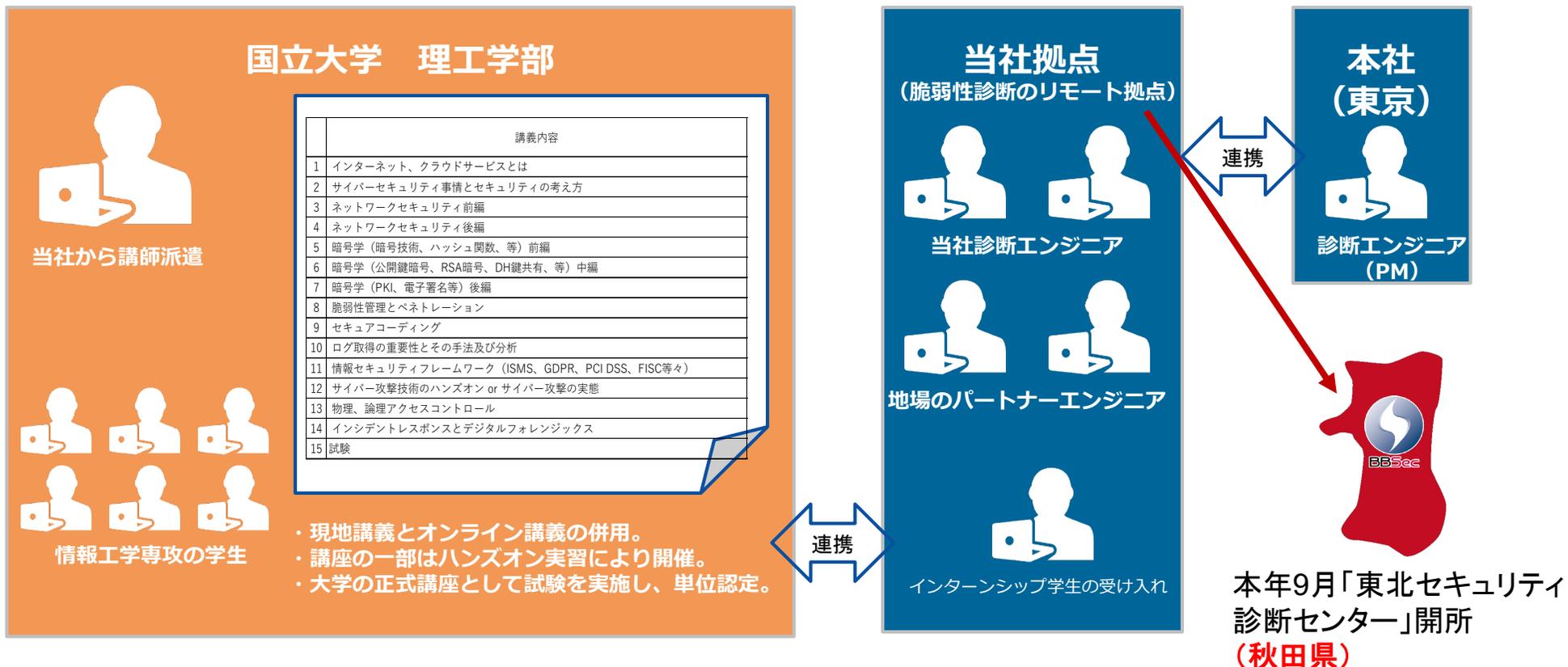
### 当社のクレジットカードセキュリティ支援サービス体系





# トピックスのご紹介 地方創生・社会貢献・人材育成に向けて

## 地方大学連携によるセキュリティエンジニア育成 と 脆弱性診断拠点の開設



**背景：**脆弱性診断サービスの成長と市場拡大に伴うセキュリティエンジニアの不足。（当社、セキュリティ業界全体）

新しい攻撃手法やサイバーセキュリティ対策の最新動向を踏まえた教育機会の提供。（大学）

**連携：**大学の正式講座として当社がセキュリティ講座の開設と単位認定を通じて、エンジニア育成を支援。

地域のパートナー企業と連携し診断拠点として開設するとともに、地元志向の学生採用の受け皿拠点として開設。

2021年6月期 通期 業績サマリー

トピックスのご紹介

**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**



# 会社概要

## 会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)  
BroadBand Security, Inc.

## 本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1  
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

## URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

## 設立

2000年11月30日

## 資本金

2億9,270万円

## 決算期

6月

## 株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場  
上場日：2018年9月26日  
株式コード：4398

## 従業員数

218名 (2021年6月末現在)

## 代表者

代表取締役 最高経営責任者 (CEO) 滝澤 貴志

## 事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

## 事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店  
東北セキュリティ診断センター (2021年9月開所)  
海外：韓国支店  
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

## 関連会社

BroadBandSecurity Assessment(Thailand)  
Company Limited  
(タイ、バンコク)

(2021年6月末現在)



## セキュリティ監査・コンサルティングサービス

お客様システムの可視化、課題抽出、課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。  
IT・組織双方を対象とした各種サービスは、企業のセキュリティにおける盲点を発見し、実現可能な解決策をご提示いたします。  
また、ゴメス・コンサルティングサービスでは、顧客企業のオンラインビジネス成功に向けた調査サービスを中心に、具体的なデザイン改善・システム開発、効率的なサイト運営のサポートまで、Webサイトに関する総合的なソリューションをご提供しています。



### コンサルティング

- ・ セキュリティ・アドバイザー
- ・ CSIRT 構築 / 運用支援
- ・ Shift Left コンサルティング
- ・ セキュリティログ分析 / 活用支援



### 教育

- ・ 標的型攻撃メール訓練



### アセスメント

- ・ リスクアセスメント
- ・ 産業用制御システム向けリスクアセスメント
- ・ QR コード決済事業者向けリスクアセスメント
- ・ 自己問診型セキュリティリスクアセスメント
- ・ テレワーク環境情報リスクアセスメント



### 設定評価

- ・ ネットワーク機器設定評価
- ・ 無線LAN 調査
- ・ データベース設定評価
- ・ 感染端末調査



### セキュリティ認証取得

- ・ PCI 準拠支援 / オンサイト評価
- ・ 日々ログ
- ・ クレジットカード情報非保持化支援
- ・ PCI 準拠維持支援
- ・ SAQ 準拠維持支援
- ・ PCI ウォークスルー

## ゴメス・コンサルティングサービス Gómez



### ユーザーデータ分析

- ・ リモート型ユーザビリティテスト
- ・ マーケティング・データベース



### Webサイトの評価・開発

- ・ サイト評価・設計コンサル
- ・ Webサイト・アプリ開発
- ・ 各種シミュレーション開発



### 効率的・安定的な運用サポート

- ・ Webクオリティ検証ツール
- ・ パフォーマンス監視ツール
- ・ セキュリティ診断サービス
- ・ 業務フローコンサルティング

## 脆弱性診断サービス

お客様システムに潜む脆弱性を検証するサービスです。  
新規開発時だけでなく、運用中のアプリケーションにも定期的に実施すべきプログラムです。



### 脆弱性診断

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- ソースコード診断
- ハイブリッド診断
- 標的型攻撃リスク診断
- ペネトレーションテスト



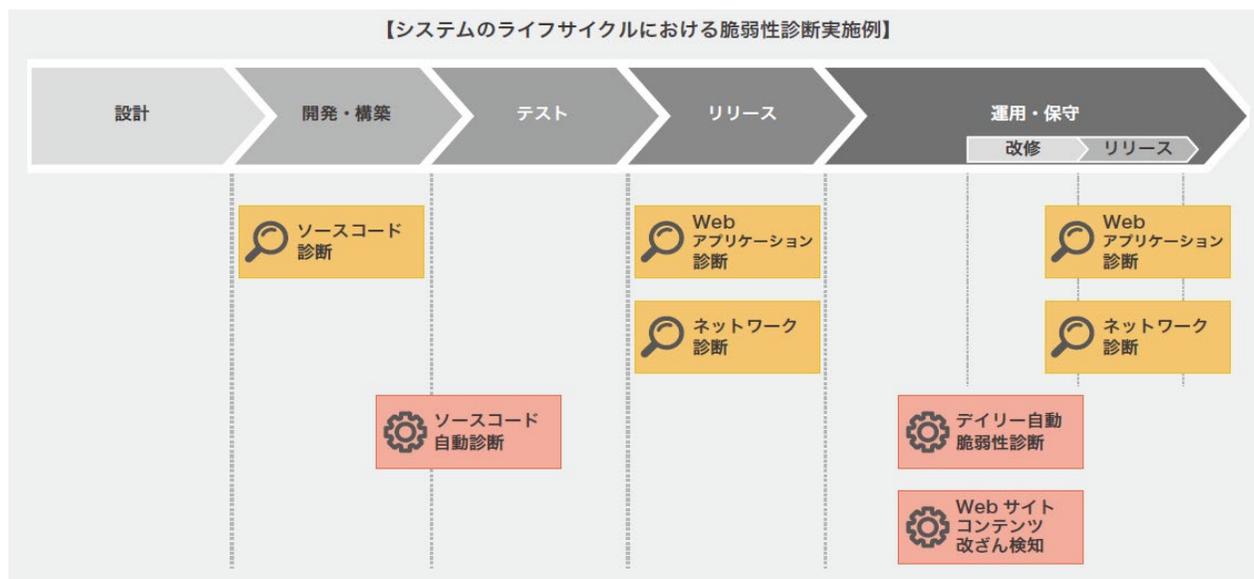
### 脆弱性診断保守

- デイリー自動脆弱性診断
- WEBサイトコンテンツ改ざん検知
- ソースコード自動診断



### クラウドセキュリティ

- クラウドセキュリティ設定診断
- パブリッククラウド向け診断



# 提供サービス

## 情報漏えいIT対策サービス

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用をセキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日体制**で支援いたします。



### セキュリティ運用支援

- ・ マネージドセキュリティ
- ・ WAF運用
- ・ IDS/IPS、UTM、ファイアウォール運用
- ・ モダンマルウェア検知
- ・ インターネット分離クラウド
- ・ SIEM 運用 / 分析
- ・ Splunk自動遮断連携
- ・ エンドポイントセキュリティ運用支援
- ・ 脆弱性情報提供
- ・ セキュアメール

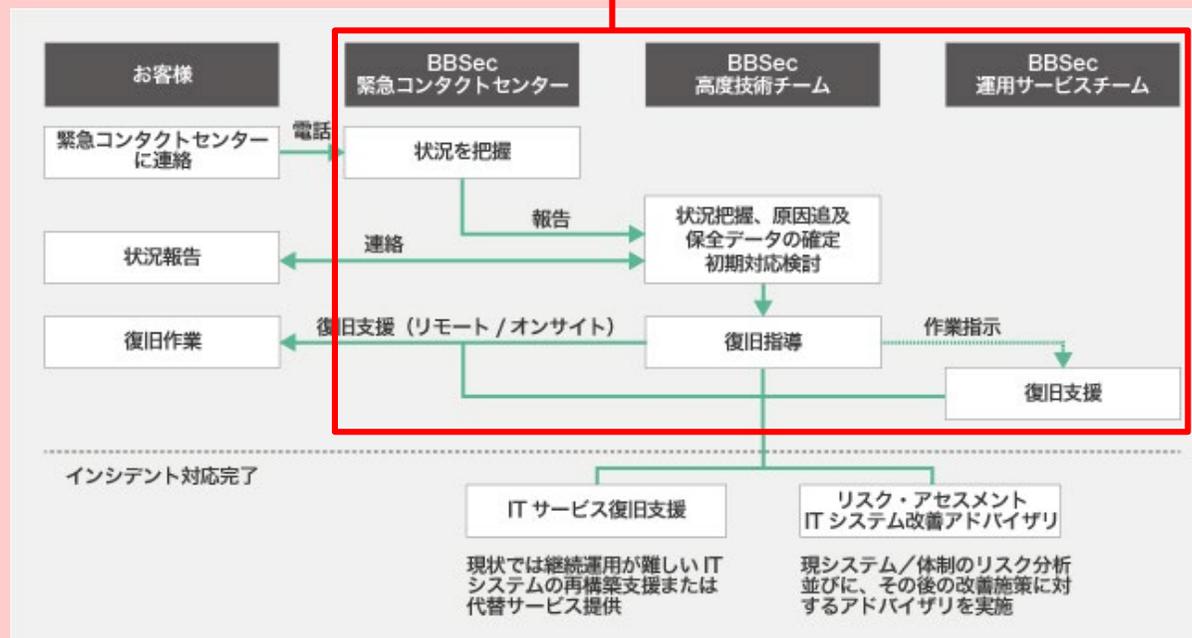


### 緊急対応

- ・ 緊急コンタクトセンター
- ・ デジタルフォレンジック

## 24時間365日体制の緊急窓口を設置

インシデント発生時に、お客様企業に出向き、事象の把握と初期対応、そして今後の対策についての方針を決定するための支援を実施。



# 会社沿革

## 2000 会社設立

### 国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立

2000年11月 会社設立（社名：㈱ブロードバンドエクステンジ） 2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加  
2004年10月 大阪支店設立

## 2005 セキュリティサービス開始

### 初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始

2006年5月 ㈱ブロードバンドセキュリティに社名変更 2006年10月 「ソースコード診断」を提供開始  
2007年1月 「SQAT情報システム品質分析」を提供開始 2008年5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得

## 2009 セキュリティ専業へ

### サービスを再整理し、セキュリティ事業に特化

2009年1月 「デイルー脆弱性診断」を提供開始 2009年2月 BEXサービスを事業譲渡  
2009年4月 セキュリティオペレーションセンター開設 2009年4月 「PCI DSS準拠支援」を提供開始

## 2012 グローバル展開開始

### 国内企業の海外展開支援をするために、初の海外支店オープン

2012年3月 韓国営業所（現韓国支店）設立 2013年3月 デジタルフォレンジック事業開始  
2013年10月 「モダンマルウェア検知」を提供開始 2015年5月 「PCI DSS準拠支援」のグローバル対応を本格化

## 2016 統合サービス開始

### サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大

2016年5月 「PCI DSSオンサイト評価」を欧米に拡大 2016年8月 PCI DSSのP2PE認定審査機関を取得  
2017年5月 「インターネット分離」を提供開始 2017年10月 「パブリッククラウド向けセキュリティ診断」を提供開始

## 2018 株式公開

### お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開

2018年9月 東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場 2019年1月 「エンドポイントセキュリティ運用支援」を提供開始  
2019年5月 「重要インフラ/産業用制御システム向けセキュリティリスクアセスメント」を提供開始

## 2020 新たな社会ニーズへの対応

### リモートワークなど新たな社会ニーズに求められるのセキュリティサービスを積極展開

2020年4月 「テレワーク支援セキュリティ診断」を強化 2020年8月 「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」を提供開始  
2020年9月 「国際送金ネットワーク SWIFT 評価・コンサルティング」の提供を開始

## 2021 サービス領域拡大

### PFI、CPSA登録によるサービス領域拡大とゴメス・コンサルティング事業の承継

2021年3月 ゼロトラストコンサルティングサービス提供開始 2021年4月 カード情報漏えい事故調査機関 PFI登録  
2021年5月 クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関 CPSA登録  
2021年7月 モーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業承継

# 当社の強み

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

## ニュートラル



最適な改善策を提示するために  
欠かせないベンダーニュートラル性

## 技術対応力



経験、知識、情報網を核とした  
最先端の技術対応力

## 信頼性



サービスご利用の高いリピート率が  
示す高信頼性

## ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに  
お応えする柔軟な体制

## 高品質



国内最多規模のPCI DSS認定QSA  
をはじめ公的資格所有者が多数在籍

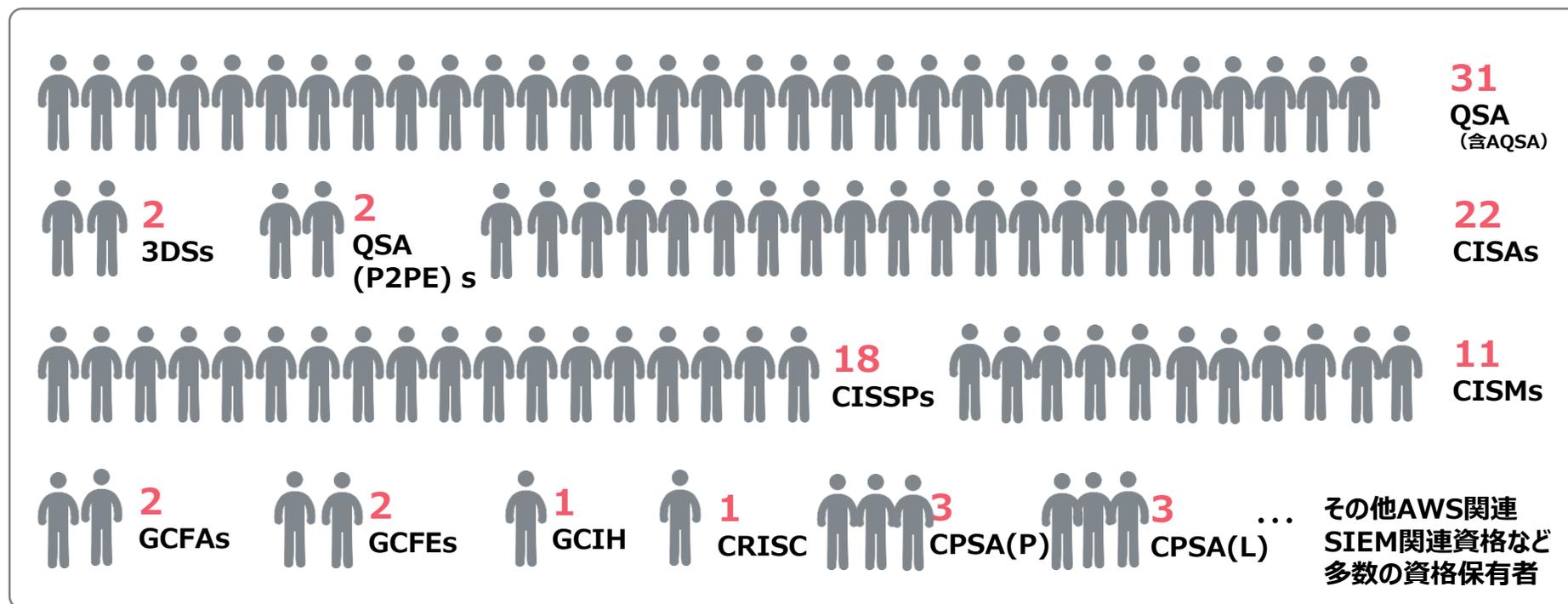
## 豊富な実績



これまでに延べ5,810組織/  
35,000超のシステムに診断を実施

# 高い技術対応力

セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍。  
多角的にお客様のセキュリティ対策を検証・支援いたします。



QSA: Qualified Security Assessor  
AQSA: Associate Qualified Security Assessor  
QSA(P2PE): QSA (Point-to-Point Encryption)  
3DS: 3-D Secure Assessor  
CPSA: PCI Card Production and Provisioning Security Requirements (PHYSICAL AND LOGICAL)  
認証機関: PCI Security Standards Council

CISSP: Certified Information Systems Security Professional  
認証機関: International Information Systems Security Certification Consortium (ISC)<sup>2</sup>

GCFAs: Certified Forensic Analyst  
GCIH: Certified Incident Handler  
GCFE: Certified Forensic Examiner  
認証機関: Global Information Assurance Certification

CISA: Certified Information Systems Auditor  
CISM: Certified Information Security Manager  
CRISC: Certified in Risk and Information Systems Control  
認証機関: Information Systems Audit and Control Association (ISACA)

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

**株式会社ブロードバンドセキュリティ**  
**お問い合わせ [ir@bbsec.co.jp](mailto:ir@bbsec.co.jp)**

**<https://www.bbsec.co.jp/ir/>**